ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会　会報誌

106号

2011 年 12 月 10 日発行号

今年もご参加いただき、ありがとうございました！
来年もい～っぱい楽しいことをやりましょう！！

今年はきのこ採りに行った回数が少なくて、いつの間にか冬になってしまったように感じます。冬といっても本会は元気ですよ～！　皆既月食を見て、まふゆのキャンプをやって、味噌づくり、雪中キャンプもあります。寒い思いをした方が、温泉の気持ち良さは倍増しますよ～。

こんなきのこ採りもあり？

味噌の天地返しもしました♪

ログハウス第 2 弾も継続中！

○　被災地支援金（義援金）をご寄付くださったみなさま

総額 138,500 円を生活協同組合あいコープみやぎさんに送金しました。現地より最新情報があり次第、みなさまにご報告します。生活協同組合あいコープみやぎホームページ→　http://www.mamma.coop/index.html

――― INCH NEWS ―――　※「INCH」とは、自然文化誌研究会の愛称です。

○『冒険学校まふゆのキャンプ』まだまだ募集中ですよ～！12 月 21 日までのお申込で大丈夫ですよ♪

○洋式便器に続いて、キャンプ場の水道に蛇口が付きました！佐々木さんの力作であります。

ナマステ 106 号　―もくじ―

冬の活動のご案内 2
第 8 回通常総会のご案内 4
秋の活動報告 5
INCH の楽しい仲間たち　VOL.1 9
植物と人々の博物館　VOL.6 10
新連載　小菅村の動き　VOL.6 11
事務局だより 12

KIDS 会報！？･･･もう何も言うまい。

■ 活動案内 ■

その１ 冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」3.30～4.1（２泊３日）

利根川の源流部である、群馬県みなかみ町。その山奥で、2m の積雪の中、２泊３日のキャンプを行います。キャンプ中はずっと雪の上で生活をします。焚き火も雪の上、テントも雪の上、ご飯も雪の上・・・何をするにも雪があります。そんな雪を味方にして楽しいキャンプをしよう！

ドラム缶風呂、星空（月）観察、雪山ハイキング、ソリ遊びなどなど、たくさんのおもしろいプログラムを用意してお待ちしております！

このキャンプを体験すると、どんなキャンプにも対応できる、すごい人になっちゃいますよ～♪

2m の雪中で生活しながらも焚き火は常に必要！！

お風呂はドラム缶風呂！2m の雪を掘って、
ドラム缶風呂を沸かします！スタッフも一緒に入るよ♪

日　程：2012 年３月 30 日（金）～４月１日（日）
場　所：群馬県みなかみ町　三菱 UFJ 環境財団水源の森
宿　泊：テント・雪洞・イグルーなど。
対　象：小学校３年生～中学校３年生　20 名
参加費：会員：￥15,000　非会員：￥17,000
※交通費は各自負担となります。ご相談ください。
集合と解散：上越新幹線　上毛高原駅　※東京駅も可能です。
＊寝袋や食器などのキャンプ道具は本会にいっぱいあるので、お貸しできます。
＊参加希望者は、ハガキ・もしくはＥ－ｍａｉｌに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、３月９日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。

ジブリ風のカマクラを作りました！！

最終日。2 泊 3 日耐えた猛者たち。
この後は温泉だぜ！！

冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」は日本たばこ産業（JT）より**『2011 年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業』**助成を受けて開催しています。

雪中キャンプの下見と装備運搬は、3/3-4 に行きます。興味あるスタッフは事務局まで！！

その 2 環境学習シンポジウム「環境教育学の新たな提案」2.18

「素のままの美しい暮らし」ができる幸福な社会を築くには環境世界を学び、生活を豊かにする価値観をトレーニングする必要があり、環境教育学はこのための有効な方法論です。「環境科」のカリキュラムの必要性について提案したいと考えます。（案内より抜粋）

日時：2012 年２月 18 日（土）8:30～17:00

会場：代々木国立オリンピック記念青少年総合センター

定員：300 名

参加費：無料（夜の懇親会は、一般 4,000 円、学生 2,000 円）

申込：氏名、住所、電話、FAX、E-mail、所属、懇親会参加の有無を記入して下記にお申込ください。

FAX：０４２－３２９－７６６９

E-mail：　kimatami@u-gakugei.ac.jp

主催：東京学芸大学環境教育研究センター、学部環境教育教室、大学院環境教育サブコース

共催：東京学芸大学学芸の森環境機構

後援：三菱 UFJ 環境財団、NPO 法人自然文化誌研究会ほか

詳細はホームページからもご覧になれます。

http://www.ppmusee.org/event/pg96.html

9:00 挨拶　高田滋（東京学芸大学環境教育研究センター長）

趣旨説明　木俣美樹男（東京学芸大学学芸の森環境機構長）

9:20　環境科カリキュラムの必要性を探る

座長：鈴木善次（大阪教育大学名誉教授）

市川智史（滋賀大学環境総合研究センター准教授）

①持続可能な社会の構築につながる環境学習～学びから行動へ、個人から社会へ

■藤村コノエ（環境文明 21 代表）

②地域に根ざした環境教育のモデル～新潟県南魚沼における「場の教育」の実践から

■大前純一（NPO 法人エコプラス事務局長）

③小学校での環境教育実践

■中込卓男（NPO 法人自然文化誌研究会代表理事、八王子市上壱分方小学校教諭）

④児童・生徒の生物多様性保全認識の向上のための学社融合カリキュラム～韓国（洪城郡洪東面）プルム実践からの学び

■降旗信一（東京農工大学准教授）

⑤環境教育学、次のステップへ　■渡辺隆一（信州大学教授）

12:00　昼食とポスターセッション　「環境＋教育」研究・実践、GLOBE プログラム、植物と人々の博物館プロジェクトほかの展示

13:00　新たな環境教育学の提案

座長：安藤聡彦（埼玉大学教授）

松葉口玲子（横浜国立大学教授）

①東京学芸大学の環境教育パイオニアワークに触発されて変貌する私の教育研究

■原子栄一郎（東京学芸大学教授）

②地域と連携する大学教育と環境教育指導者養成

■樋口利彦（東京学芸大学教授）

③私の学び～自然保護教育からまちづくりまで

■小川潔（東京学芸大学教授）

④ジオパークによる自然史教育

■小泉武栄（東京学芸大学教授）

⑤河川環境の学び方、伝え方

■吉冨友恭（東京学芸大学准教授）

⑥農村漁村の生物文化多様性から学ぶ

■木俣美樹男（東京学芸大学教授）

挨拶　山本克明（三菱 UFJ 環境財団理事）

17:30　懇親会

詳細を知りたい方は事務局までご相談くださいなのら～。

その３ のびと講座「小菅村での味噌づくり」 3.10～11（1泊2日）

毎年恒例、手づくりの味噌づくりです。豆を煮るところからはじめて、杵で搗いて大豆をすり潰していく、昔ながらの味噌づくりを行います。１泊２日でゆっくりと昔からの味噌づくりをしませんか？

みんなで仕込んだ味噌は、１年ほど寝かして完成した後に、参加者の皆様にお届けします。

2 日目が本番。臼と杵で大豆をすり潰し続けます。

＊参加希望者は、ハガキかＥ－ｍａｉｌに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、２月 24 日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。

日　程：2012 年３月 10 日（土）～11 日（日）
場　所：山梨県北都留郡小菅村のキャンプ場
宿　泊：ログハウスで寝袋でみんなで寝ます。
※宿泊施設ご希望の方はご相談ください。

対　象：小学校３年生～一般の方　20 名
参加費：会員：5,000 円　非会員：8,000 円
※その場で会費をいただけば、会員価格で参加可能。
（材料費、宿泊、食費、保険代が含まれています）

すり潰した大豆と麹を混ぜていきます。ここが一番の重労働！

『第 8 回 NPO法人 自然文化誌研究会 通常総会』のご案内

2004 年に東京都の認証を受けてから、第 8 回目の総会を行います。正会員の皆様はぜひご出席ください。また出欠を同封のハガキでお知らせ下さい。このハガキは欠席の場合は委任状となっております。ご意見などもお気軽にお寄せください。なお、正会員以外の会員の皆様もオブザーバー参加が可能です。

日時：2012 年 2 月 5 日（日） 13:00 開始～14:30 終了予定
場所：山梨県北都留郡小菅村　植物と人々の博物館にて（小菅村中央公民館）

＊自家用車でお越しいただくか、JR 奥多摩駅から西東京バス「小菅行き」に乗り、「小菅村役場前」で下車。
＊詳細は事務局まで電話かメールにてお尋ね下さい。

議題： ①2011 年活動報告　②2011 年収支報告
③2012 年活動計画　④2012 年収支予算
⑤その他

よろしくお願いいたします。

道路が凍結する時期です！自家用車の方は必ずご相談くださいませ！！

■ 活動報告 ■

その 1 新企画「INCH ライブ 2011」　9.23～24(日帰り・1 泊)

秋、ログハウスのあるキャンプ場、静かな小菅村で新企画の「INCH ライブ 2011」を開催しました。本会代表理事の中込卓男と仲間たち、ゲストも集まってのライブとなりました。「チョークス」「座」といったバンドの皆さんが集まってくれました。

舞台は建設中のログハウスの下。照明も音響もバンドの皆さんに準備していただきました。

今年は、会員の皆さまをお誘いするのが遅くなってしまいました。
本会としては、春の「野草の天ぷらとお茶つみの会」に並ぶ、オープンなイベントとして定着させたいと思っています。
来年は 9/29-30 に、「きのこキャンプ」と同時開催で行う予定です、皆さんお楽しみに！！

ライブ中のおつまみは、マイタケの天ぷらでした♪

その 2 のびと講座「きのこキャンプ」　10.1～2(1 泊 2 日)

今シーズン、特に前半はきのこが全然採れませんでした～、残念。「きのこキャンプ」は少人数で、長時間歩かずに小菅村内のポイントを何箇所も回りました。山を歩いていて皆が口を揃えたことは、「山が乾いている」とのこと。台風 12 号、15 号があり、かなり雨が降ったように感じましたが、山は乾いていました。

結局、収穫できたのは、ムキタケ 8 枚、ウラベニホテイシメジ 3 本、以上！貴重な天然きのこでした。でも、きのこ鍋はやりました。小菅村はきのこの栽培も盛んなので、購入してきのこいっぱいの鍋にしました。

1 週間後の 10 月 8～9 日、少ないものの、ハタケシメジ、クリタケ、アミタケ、ヌメリイグチなどは採れました。でも少量。結局そのまま、今年はきのこ採りには全然行かないで、反省のシーズンになってしまいました。来年はがんばるぞ～。

ブヨブヨしたきのこ（スッポンタケ）

ハタケシメジは散歩しながら探そう。

クリタケ群生（10/9）

きのこは昨年に引き続き、10 月 10 日ごろからまとめて生えてきたようです。

その 3 タイ ラジャバト大学の皆さんを歓迎 10.14～29(14 泊)

本会が毎年行っている「タイ環境学習キャンプ」。現地で案内をしてくれるタイ ラジャバト・プラナコン大学の皆さん。今回は大学院共同研修のために来日され、東京、小金井、小菅村を中心に研修されました。本会は、もちろん普段の逆で、案内とコーディネートをしました。

前半は東京及び小金井。江戸東京博物館、小金井公園建物園を見学、環境教育講義、学芸大学院生との合同セミナーなどを行いました。

学芸大学にて歓迎会を開催！

タイカレー作りと村民をご招待してお食事会

その後、小菅村に 5 泊しながら小菅村の生活と文化を体験、小菅の人たちとの交流を行いました。

大菩薩御光太鼓、太鼓道場の練習の見学

行政の視察① 長作地区の堆肥化工場

行政の視察② 下水処理工場

小菅村役場の表敬訪問(中央は小菅村長降矢英昭氏)

ミューゼス研究会、小菅村役場、小菅の湯、NPO 多摩源流こすげ、太鼓道場をはじめ多くの皆さまにご協力をいただきました。ありがとうございます～！！

タイ環境学習キャンプ 2011 の報告は次号にしたいと思います。ご承知くださいませ。

小菅村の自然:松姫峠より山中

小菅村の産業:木下養魚場で聞き取り

そして、小菅村民との座談会を行いました。また植物と人々の博物館(中央公民館)にもタイの展示をしました。

小菅村の皆さんの協力もあり、忙しすぎてしまったかな？というぐらい充実したスケジュールで行いました。

その後、東京へ戻り、八王子市上壱分方小学校の訪問、第 31 回環境教育セミナーの開催を行い、研修の成果をまとめた後に、宴会をして帰国。

当時はタイの大洪水で皆が心配していましたが、タイの方は心の不安を見せずに笑顔で付き合ってくれました。

2011年（平成23年）10月23日 日曜日

独自の山村文化学ぶ

タイの大学院生７人、小菅に滞在

「環境考えるきっかけに」

タイのプラナコン＝ラジャバト大の大学院生7人らが環境に関わる研究の一環で小菅村を訪問し、23日まで住民と交流しながら滞在している。日本の山村地域の暮らしを知ることが主な目的。特産物の生産や自然環境、公共施設などを視察しながら日本の技術や文化に触れている。タイは現在、洪水被害に見舞われている。参加者の1人は自然環境について広く考えるきっかけにしたい、と考えている。

ヤマメなどの養殖業者を見学するタイの大学院生＝小菅村

同大の学生が村を訪問するのは初めて。同大と交流がある東京学芸大や、もともと同大の学生サークルとして設立し、小菅村とも縁が深いNPO法人「自然文化誌研究会」が仲介役となり実現した。

村を訪れているのは社会人として勤務する傍ら、週末を利用して通学している大学院生と教員計約10人。同法人の事務局長で村内在住の黒沢友彦さんがコーディネーターを務めながら、体験プログラムを中心に活動している。

一行は19日から村内に滞在。下水処理施設や堆肥工場を見学したほか、村の特産品である川魚の養殖業者も訪れた。住民との交流ではタイカレーを振る舞ったほか、座談会を開いて日本の文化や日常生活を学んだ。

タイで水道局に勤務しているアナン・ペッヌーさん(42)は「小菅村は小さなコミュニティーだが、水処理や養殖技術で体系的な仕組みが確立されていて参考になる」と感想。また指導教員のラタワン・カンハスワンさん(75)は「タイは洪水、日本は津波の自然災害に見舞われた。今回の訪問を自然環境について広く話し合うきっかけにしたい」と語っていた。

住民主導で地域づくり

人材養成講座スタート

新しい公共を担う人材を育てる「地域再生ファシリテーター」養成講座(県、山梨県立大主催)が22日、甲府・県立大飯田キャンパスで開かれた。

ファシリテーターは、住民が主体となって取り組む地域再生活動の促進役のこと。行政でなく、同講座は住民主導の地域づくりに取り組む人材を育てる狙いがある。

同大非常勤講師で地域づくり活動のアドバイザーとして活躍する山浦晴男さんが講師を務めた。県内のNPO法人関係者や市町村職員など約40人が参加した。

山浦さんは、宮城県の離島で取り組んだ地域おこしの事例を取り上げ、「地域にあるものを探すことが、地域再生に向けたメニューづくりにつながる」などとした。

続いて、参加者がワークシ

山梨日日新聞朝刊　10 月 23 日に記事掲載されました。

その４ 受託事業 TCA 専門学校野外実習 10.21～22（1 泊 2 日）

東京コミュニケーションアート専門学校（TCA）の野外実習。いつものキャンプ場で、学生さんたちは自分たちで用意してきたプログラムを展開します。本会スタッフは助言者の立場に立って、その活動を見守ります。野生動物を専攻する学生も多く、村の人にも聞き取りをしたりしていたようです。

今年は総勢 35 名でした！

その５ 第２回 青梅環境フェスタ出展 10.16 青梅市釜ヶ淵市民公園

今年は震災の影響があり、6 月から 10 月に順延されたこのイベント。昨年に引き続き、小菅村からは 2 団体が出展しました。本会は、ヤマメの塩焼きと宣伝を兼ねて出展。「源流きらり」は製造体験で出展しています。第 2 回目ということで、来場者も増えたように感じます（時期が良いのかも？）。ヤマメの塩焼きは焼けば焼くほど上手くなりますね～。まだまだ小さいお祭りですが、出展者同士仲良くなったり、小菅村の知名度も高く、居心地の良いお祭りです。売れ残ると困るので、守りに入ってヤマメを 80 匹用意したら、13:00 前に売り切ってしまいました。来年は 100 匹用意する予定です。

ヤマメ焼きは、はるちゃんがやっていました。

源流きらり製造体験には、女子高生も参加してくれました。

その５ のびと講座「ふたご座流星群観望会」12.10～11（1 泊 2 日）

今年は「皆既月食」が重なったこの企画、最高の天気に恵まれました！この時期に快晴ということは、冬型の天気だから、とても寒いんですけれど、雲一つない空の下、観望会を行うことができました。総勢 12 名が参加、参加者の最高年齢 84 歳！

当日は、15:00 に小菅村到着、観望場所の下見、夕食（宴会）、星と月食とカメラの講義を経て、21:00 に夜空の下へ向かいました。ほぼ満月のため、自分の影ができるぐらい明るく、星はよく見えません。21:24 予定どおり、月が影になりはじめます。影になった月はオレンジ色になって行きます。月が半分もオレンジ色になった頃、ふと気付くと、星がよく見えるじゃないですか！23:00 過ぎに月全体が影になり、星の撮影会もはじまりました。撮影をする人は元気に動き回ります。撮影をしない人は寝袋に入って寒さに耐えながら空を眺め続けています・・・満足した人からキャンプ場へ戻って、眠ったり、飲みなおしたり・・・自由に過ごしました。翌朝、天体写真の上映会をログハウスで行い、待望の小菅の湯に入って解散しました！

ひるまん、用意万端過ぎるぜ！

観望会には、尚子ちゃんの旦那の弟さんのアースィも来てくれました。

『INCH の楽しい仲間たち』 vol.1

新連載というわけでもないんです。私は～小菅村に住み始めてもう 8 年になります。冒険学校やのびと講座といった行事だけでなく普段も多くの人が訪ねてきてくれます。いつもにぎやかで楽しいなぁ～、といった訳で、訪問者の紹介やこちらから出かけたことを紹介したいと思います～。

① づめちゃんが来たよ～

本会が「のびと講座 源流での登山道整備」にて、ず～っとお世話になっている、甲武信小屋。小屋主の山中徳治さんをはじめ、秩父で冒険学校に行っていた人は聞き覚えのある筈！いつもはこちらが訪れてばかりですが、10 月に甲武信小屋のチーフ、づめちゃんこと、北爪さんが小菅村に遊びに来てくれました～。奥さんと子どもを連れて。

実は私、甲武信小屋ではちょっとした有名人のようで、学部 2 年生＝1997 年の「第 10 期子どものための冒険学校（東京学芸大学の公開講座時代）」に山コースのスタッフとして、甲武信小屋に泊まりました。その時にまだまだ若造で、ちょっとやらかして（ダイブ）、未だにその話しは出るらしいです。個人的には翌年の 1998 年に東沢釜の沢を遡行して訪ねたのですが、それ以来、一回も甲武信小屋にも行ってないんですわ。

で、づめちゃんが小菅村に来てくれました。初対面なんですが、お互いに話しは聞いていたので即乾杯、即タメロ、ということで仲良くさせてもらいました。づめちゃんの方がちょっと年上です。

づめちゃんから聞いたところ、一時下山（お休み）らしいです。で、11 月いっぱいで小屋は閉めるので、山開きまでは小屋の仕事はお休み。でも甲武信小屋は年末年始は営業するので、その期間は雪山に向かって登っていくようです。 下山の度にカヌーで川を下ったり、未だに冒険探検しているとのこと、音楽を愛しているとのこと。変わった人だなぁと思いました。詳しくはブログあります！

甲武信小屋の掲示板 http://6319.teacup.com/mt2475/bbs

づめちゃんのブログ http://zumezume.naturum.ne.jp/

ちなみに以前ですが、山中徳治さん（徳さん）もログハウスを見に小菅に来てくれました。民宿中津屋の山中進さん（進ちゃん）も来てくれました。

② 尚子さまの結婚パーティー ＠台湾

本会の参加者で現在運営委員の井上尚子さんがめでたく結婚しました～。お相手は台湾の方です。尚子さんは現在、中国に住んでいます。国際結婚ということで、今回は台湾で披露宴でした。

身内の方以外に、本会からは事務局夫婦と同じく参加者で現在運営委員の由本圭さんが台湾へ行ってまいりました！

200 人以上が参加したにぎやかな披露宴でした～

圓山大飯店というすげーホテルの最上階でした～

翌日は日本から来た人のために貸し切りバス旅行を！

尚子さん本当におめでとうございます！先日の星空観望会では本場台湾のカラスミをいただき、ごちそうさまでした～。日本酒に浸してから炭で炙って、みんなで美味しくいただきましたよ♪

『植物と人々の博物館』 vol.6

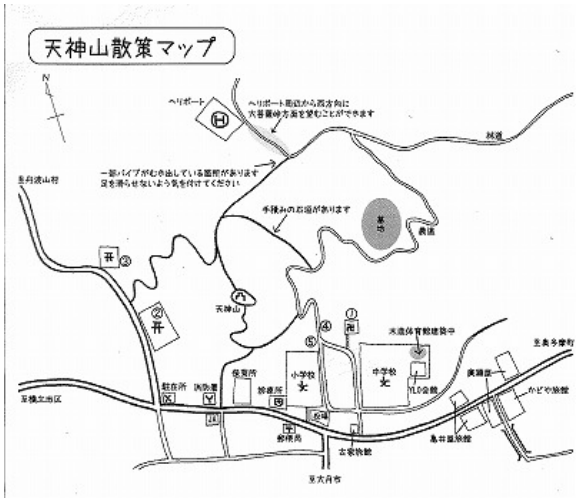
展示も書庫も徐々に整備が進んでいます。村内のサテライトも充実していきますのでお楽しみに！
小菅村の多摩川源流研究所発行「源流の四季」にも 4 回連続で紹介していただきました。

① アワの収穫

10 月 9 日、小菅村では「第 14 回大地の恵祭り」と同日開催で、アワの収穫を行いました。総勢 8 名が参加、素手でアワをポキポキ折って収穫していただきました。今年は良い出来だったと思います（大豆は悪いよう）。

② トレイルマップ（セルフガイドマップ）作成中

小菅村役場周辺の川池地区、天神山周辺のマップ作りを進めています。ミューゼス研究会の提案により、NPO 法人多摩源流こすげの協力も得て、素案ができました。冬の間にこれを煮詰めて、春までの完成を目指します。



③ タイの展示しています～！

ラジャバト大学の皆さんに、タイの展示をしてもらいました。植物と人々の博物館（小菅村中央公民館）3 階に小スペースですが展示しています。お越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

④ 『日本エコミュージアム研究会第 17 回全国大会』

今年は長野県下伊那郡阿智村で開催されました。小菅村から小島力さん、清水利江さんが視察に行ってきてくれました。阿智村もとてもにぎやかなようです。

⑤ ロゴマーク、サテライトの充実

車用のマグネットを作成し、まずはメンバーの車から貼り付けて村内を走っています。徐々に浸透していくでしょう！その他にも、イベント開催用に幟（のぼり）と横断幕を作成中です。デザイナーと相談しながら廣瀬屋旅館の若旦那・広瀬晴彦さんが担当してくれています。

村外でも見かけるかも？

中学生と座談会

⑥ 中学校修学旅行の受け入れ

新潟県内の中学校の修学旅行で小菅村宿泊がありました。植物と人々の博物館でも 1 グループを受け入れ座談会を行いました。村の現状や山村振興のあり方など話が多岐にわたりました。

その他にも千葉県内の修学旅行の受け入れも小菅村ではありました。昨年までの小学校移動教室など、このような受け入れが増えて、小菅村を見てもらえたら良いことですね～♪

⑤ 2012 年の予定

2/18　環境学習シンポジウムの開催
5/4　　特別展示（第 25 回多摩川源流まつり開催中）
5/12　雑穀栽培講習会（種まき）
9/15　雑穀研究会シンポジウムを小菅村で開催、
-9/17　2 泊 3 日の予定です。
10/7　雑穀栽培講習会（収穫）

まだ正式な日程ではありません。ご興味のある方は何となく予定していてください、また情報掲載します～♪

ぜひぜひ、植物と人々の博物館ホームページもご覧ください。http://www.ppmusee.org/index.html

『小菅村の動き』 vol.6

今年の初雪は 12 月 2 日、1 週間後の 9 日は数 cm 積もり、山は白くなりました。この時期は、朝晩の冷え込みにまだまだ体が慣れていないので特に寒く感じます。でも日中はぽかぽかと穏やかですよ～。

① ネットショッピングが充実しています！

前号でも紹介した小菅村の特産物のネットショップが更に充実しました。

『ふるさと市場こすげ』:小菅村物産館の商品を中心に販売中。 http://ichiba.kosugenoyu.jp/ です。

『小菅村漁協　源流の恵み』:小菅村漁業協同組合のヤマメなどの商品を販売中。お歳暮にもどうぞ！！

http://kosugegyokyou.cart.fc2.com/?preview=23ZLJmSfInl9Q　ぜひぜひ、ご利用してみてください！！

燻製、ワサビ、刺身こんにゃく、イワナ骨酒など魅力の商品！

② 10 月 9 日「第 14 回大地の恵まつり」開催

本会でも指導をいただいてる「小菅村 100%自然塾」のメンバーは、きのこ採りに山へ、午後からは収穫したきのこを販売しました～。

③「第 3 回多摩川源流トレイルラン大会」開催(9/18)

参加者 630 名の盛大な大会となりました～。小菅村観光協会を中心に実行委員会を組織して、準備を進めてきました。小菅村のコースはとても良いとの好評も受けているようです。

山を力走する石坂くん

小菅村からも、源流大学の石坂真悟さん、地域おこし協力隊の岡本亮太さんが選手として参加するなど、にぎやかな大会になりました。来年も同時期の予定で開催する予定のようです。

今大会の詳細は、参加者による特集記事が電子書籍であります(無料)。興味のある方は覗いてみてください。小菅村役場のホームページから見れますよ。

http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/tourism/news/2011/10/post-9.php

④ 小菅の湯は年末年始も営業中

お正月は接客をお休みして、お客さんになってゆっくりするなら、ぜひ小菅の湯へ！！ 1 月 1 日は、ロッカーに商品が入っています、確か昨年の一等賞品は、地デジ対応テレビだった～。2～3 日は、福引もあります。

事務局も、1 月 1 日は毎年温泉に行っています♪

12 月 31 日のみ、16 時までの短縮営業、12 月 19～22 日は保守点検のためお休み。それ以外は通常営業ですぞ！

来年(平成 24 年)の「第 25 回多摩源流まつり」が 5 月 4 日に開催される予定です！

○　今後の活動予定のお知らせ（2011 年冬～2012 年春）

12/23～25　　冒険学校『まふゆのキャンプ』 ＠小菅村　2 泊 3 日
2/5　　第 8 回通常総会　＠小菅村
2/18　　環境学習シンポジウム　＠代々木国立オリンピックセンター
3/3～4　　みなかみ雪中キャンプの下見で群馬県みなかみ町へ！
3/10～11　　のびと講座『小菅村での味噌づくり』 ＠小菅村
3/30～4/1　　冒険学校『みなかみ雪中キャンプ』 ＠群馬県みなかみ町

※『ログビルダー養成講座』は、毎月第 1･3･5 の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

○　事務局より

●ちょうど 10 年前、24 歳の冬。確かこの時期に、INCH 事務局で働くことを決めたように思います。あと 4 ヶ月で INCH 事務局就任丸 10 年じゃ～ん！当初を振り返ると恥ずかしい、だから思い返さずに突っ走ります。クロ』

●昼はフルタイムで働いていますので人間です。家に帰ると 4 匹目の猫になってコタツから出ません。　はるこ』

○　事務局の麗しき日々（KIDS 会報遅延のためネタを披露♪）

・タケ・はりに長男が誕生したもよう。
・料理長（しぶやくん）は年が明けたら結婚するもよう。
・週末になると翔くんがバイクで小菅に来るもよう。でもお一人様。
・風馬は受験生のため、キャンプを初めて休むもよう。皆勤ならず。
・匠は留年が決定し、INCH のエリートコースを歩んでいるもよう。
・小菅村の小林くん家に薪ストーブが入ったもよう。
・INCH はその薪ストーブを狙っているもよう。ログに欲しいね～。
・黒が車をぶつけたのは、ヤスと遊ぶ時だったことが判明した。
・INCH 軽トラは暖房がつかない。おまけに窓も落っこちたもよう。
・佐々木さんの年末は 28 日まで小菅にいるもよう。

○　自然文化誌研究会　一緒に活動しませんか？

略称 INCH（インチ）。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、会費の納入をお願いします。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 5 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額（1～12 月）です。会員は、主催事業に会員価格でご参加できます。

また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員：10,000 円　一般会員：5,000 円
学生会員：3,000 円　賛助会員(個人・団体)：10,000 円
家族会員（一家族）：6,000 円

「家族会員」は家族全員が会員になります。なお、正会員・賛助会員の方は、家族会員と同等に家族全員が会員になっておりますので、引き続きご参加くださいませ。

郵便振替口座　：　00100-2-665768
口座名　：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

ナマステ 106 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌
＜発行日＞2011 年 12 月 10 日
＜編 集＞自然文化誌研究会 事務局
＜発 行＞特定非営利活動法人

自 然 文 化 誌 研 究 会
The Institute of Natural and Cultural History

＜事務局＞〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115
TEL　:0428-87-0165
携 帯: 090-3334-5328(事務局黒澤)
E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp
H P: http://www2.plala.or.jp/npo-inch/

ナマステを何とか年 5 回発行できました。来年からは活動の紹介、報告だけではなく、エッセイなど寄稿していただき、誌面の充実をしていきたいと思います。来年もよろしくお願いします～！！